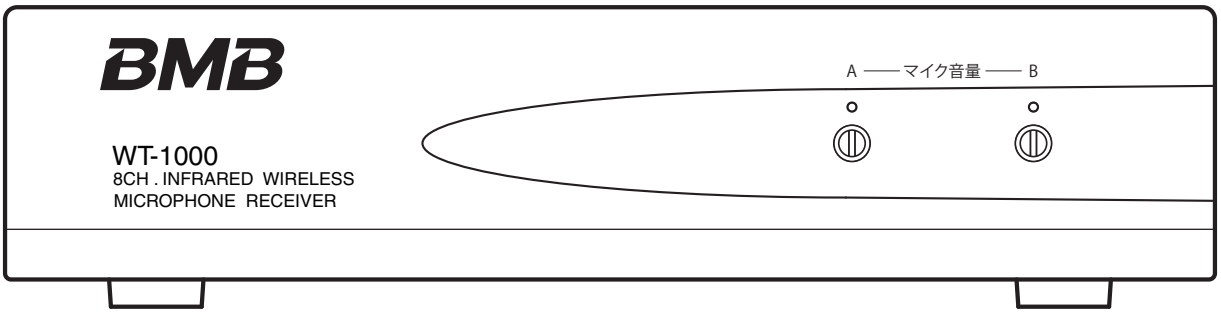
BMB
USEN GROUP

赤外線ワイヤレスマイクレシーバー

WT-1000

取扱説明書



このたびは、赤外線ワイヤレスマイクレシーバー WT-1000 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
WT-1000 の優れた性能を十分発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は保証書と一緒に保管してください。
使用中にわからないことや不具合が生じたときにきっとお役にたちます。

目 次

安全上のご注意…… 2
安全上のご注意［赤外線ワイヤレスマイクレシーバー（WT-1000）］…… 3
安全上のご注意［急速充電器（MC-100）］…… 5
特　長…… 8
梱包内容…… 8
前面パネルの名称とはたらき…… 9
後面パネルの名称とはたらき…… 9
接続図…… 10
操作のしかた…… 11
チャンネルの切り換え…… 12

急速充電器　MC-100
充電器の使用上の注意 …… 14
充電器の名称 …… 14
充電器の取扱い方法 …… 15
充電端子のお手入れ方法…… 16

受光センサー　WS-100
受光センサーの名称とはたらき…… 17
受光センサーの設置について…… 17
受光センサーを追加接続する場合… 19

アフターサービスについて…… 20
故障かな？と思ったら…… 21
参考…… 22
一般仕様…… 23

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意［赤外線ワイヤレスマイクレシーバー（WT-1000）］

警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
●万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧（交流）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、ACアダプターの電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
●この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
●この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
●ACアダプターの電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
●ACアダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- AC アダプターの電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- AC アダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に 5kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機の電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 1 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

安全上のご注意［急速充電器（MC-100）］

警　告

- 表示された電源電圧（交流）以外の電圧は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- 当社指定のマイク以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- AC アダプターの電源コードや DC 出力コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- AC アダプターの電源コードや DC 出力コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。
- 充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- この機器を、他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 機器で指定されていないヒューズは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- この機器の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 本機の内部に金属や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一異物がこの機器の内部に入った場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、破損した場合は、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池は分解しないでください。電池を漏液・発熱・破裂させる原因となります。

- 使用済みの電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。

注　意

●この機器が近くのテレビ・電子機器・医療機器等に影響を与えるときは、ご使用にならないでください。
●お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
●移動させる場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
●乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
●不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
●振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
●AC アダプターの電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●AC アダプターの電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
●本機の表面をベンジンやシンナーなどで拭いたり、近くで殺虫剤を散布することは避けてください。本機の表面を痛める原因となります。お手入れの際は、必ず柔らかい布でからぶきしてください。
●1 年に一度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨時期の前に行うと、より効果的です。

⚠
お願い

- 充電中またはご使用にならない時は、必ずマイクのスイッチを切ってください。充電不足、電池の過放電の原因になります。
- 充電インジケーター（赤色）が、点灯しない場合は、マイクをもう一度入れなおしてください。
- 急速充電中に充電器にショックを加えたりしますと、充電完了（3 個の LED 点灯）になる場合があります。その場合には、もう一度、マイクを入れなおしてください。確認のための充電は、一回のみにしてください。
- 充電が完了したマイクは、速やかに本機から取り出してください。
- 充電中、充電完了直後は、本機およびマイクが暖かくなりますが、異常ではありません。
- 急速充電が完了した電池パックは、繰り返し急速充電しないでください。ニッケル水素電池パックが過充電になり、電池パックの性能が劣化したり、寿命が短くなることがあります。
- 電池を初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからご使用ください。
- 長期間ご使用にならなかったニッケル水素電池パックを充電すると、充分に充電される前に充電が完了し、充電不足になることがあります。これは、ニッケル水素電池パックが長期保存のため、充電しにくい状態になっているためです。このようなときは、「充電」と「放電」（電池を使い切るまで使用する）を 2 ～ 3 回繰り返すことにより、正常に充電できるようになります。
- ニッケル水素電池パックの充電は、電池を使い切ってから行ってください。電池を使い切らないで充電すると、充分に充電を行っても、すぐに電池が切れることがあります。これを防ぐためには、最低でも月に 1 回、電池を使い切ってから充電することをおすすめします。
- ニッケル水素電池パックの寿命は、正常なご使用で約 1 年です。正常なご使用で充分に充電しても電池が早く切れるときは、電池の寿命と考えられます。このようなときは、早めに新しい電池とお取り替えください。
- ニッケル水素パックおよび充電器の端子が汚れていると、正常に充電できないことがあります。端子はいつもきれいにしてご使用ください。汚れているときは、乾いた布で端子を拭いてください。

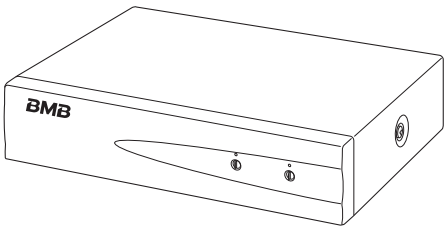
特　長

- 同時に 2 本のワイヤレスマイクが使用可能です。
- 受光センサーを最大 4 個まで接続できます。
- 付属の急速充電器（MC-100）により、マイク（WM-100/WM-100S）を約 1 時間で充電できます。
- 受信感度の切り換えにより、受信エリアを狭くしたり、プラズマディスプレイのノイズによる妨害を軽減できます。
- 8 種類のチャンネルを切り換えて使用できます。

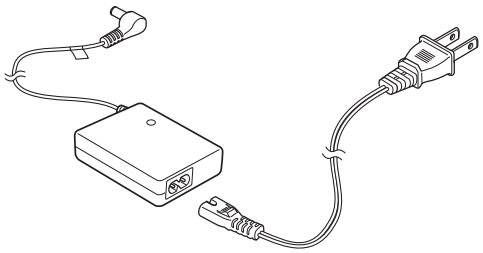
梱包内容

この梱包箱の中には、次の物品が入っています。確認をしながら開梱してください。

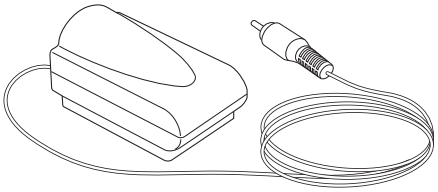
- 赤外線ワイヤレスマイクレシーバー（WT-1000）（1 台）



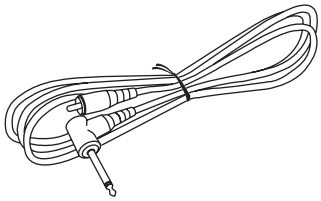
- レシーバー専用 AC アダプター（AC-WT1）（1 台）



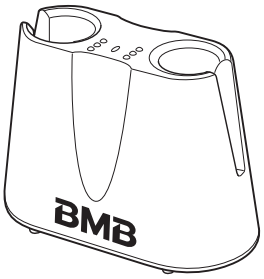
- 受光センサー（WS-100）（2 個）ケーブル長さ：10m　1 本、5m　1 本



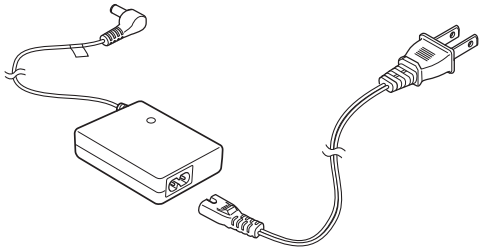
- アンプ用接続ケーブル・RCA ピン－ 6.5 φ プラグ（1 本）ケーブル長さ：1.5m



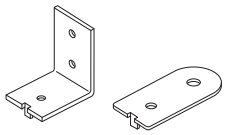
- 急速充電器（MC-100）（1 台）



- 充電器専用 AC アダプター（AC-MC1）（1 台）



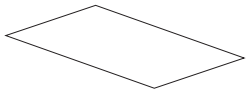
- 受光センサー取付け金具（L 型金具 2 個・平板金具 2 個）



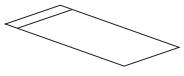
- 受光センサー取付け金具取付けネジ（2 本）

- 受光センサー取付け木ネジ（4 本）

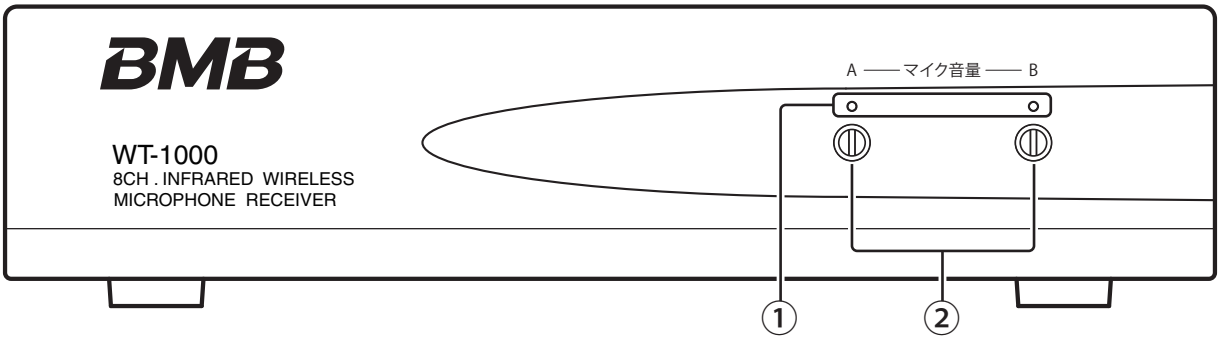
- 取扱説明書（本書）



- 保証書



前面パネルの名称とはたらき



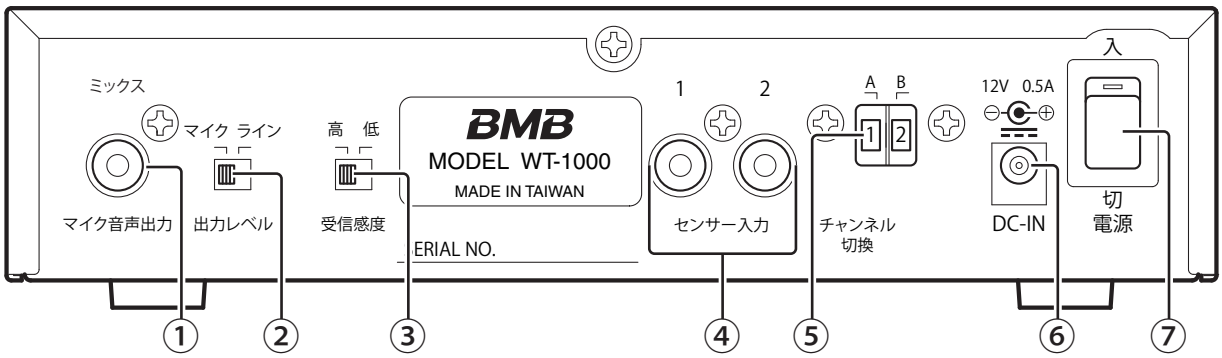
① 受信インジケーター

受信インジケーターは電源スイッチを「入」で緑色に点灯します。受信中は赤色に点灯します。
チャンネル設定異常時は A、B 両方赤色に点滅します。
※チャンネルの設定は「チャンネルの切り換え（12 ページ）を参照してください。

② マイク音量調整

マイク音声出力の音量が調整できます。マイク A とマイク B との音量に差があるときは、このつまみでバランスをとってください。通常はセンター位置でご使用ください。（小型ドライバー等で調整してください。）

後面パネルの名称とはたらき



① マイク音声出力端子

マイクの音声を出力する端子です。
マイク A とマイク B の音声をミックスして出力します。

② 出力レベル設定スイッチ

①マイク音声出力端子の出力レベルを切り換えるスイッチです。
本機と接続する端子が、マイク入力端子の場合はマイク側（300mV、3.3kΩ）に、AUX 等の端子の場合はライン側（1V、47kΩ）に切り換えてください。
出荷時は " マイク " に設定しています。

③ 受信感度切り換えスイッチ

受信感度を設定するスイッチです。
高：通常は、スイッチをこの位置に設定します。
低：" 高 " に比較して、サービスエリアは狭くなります。
" 低 " は他の赤外線ワイヤレスシステムとの混信やプラズマディスプレイの雑音による妨害を軽減するときに有効です。
出荷時は " 高 " に設定しています。
注意） 受信中に受信感度設定スイッチを操作するときは、アンプ等のボリュームは最小にしてください。雑音が出ることがあります。

④ 受光センサー入力端子

受光センサーを接続する端子です。
標準は 1 と 2 へ接続してください。
受光センサーのコネクタは最後まできちんと入れてください。
（受光センサーの通電インジケーターが点灯することを確認してください。）

⑤ チャンネル切り換えスイッチ

受信チャンネルを切り換えます。
注意） 使用するマイクのチャンネルに合わせて使用ください。

⑥ DC IN（12V　0.5A）

専用 AC アダプター（AC-WT1）の DC プラグを挿入します。
注意） 専用 AC アダプター以外は使わないでください。

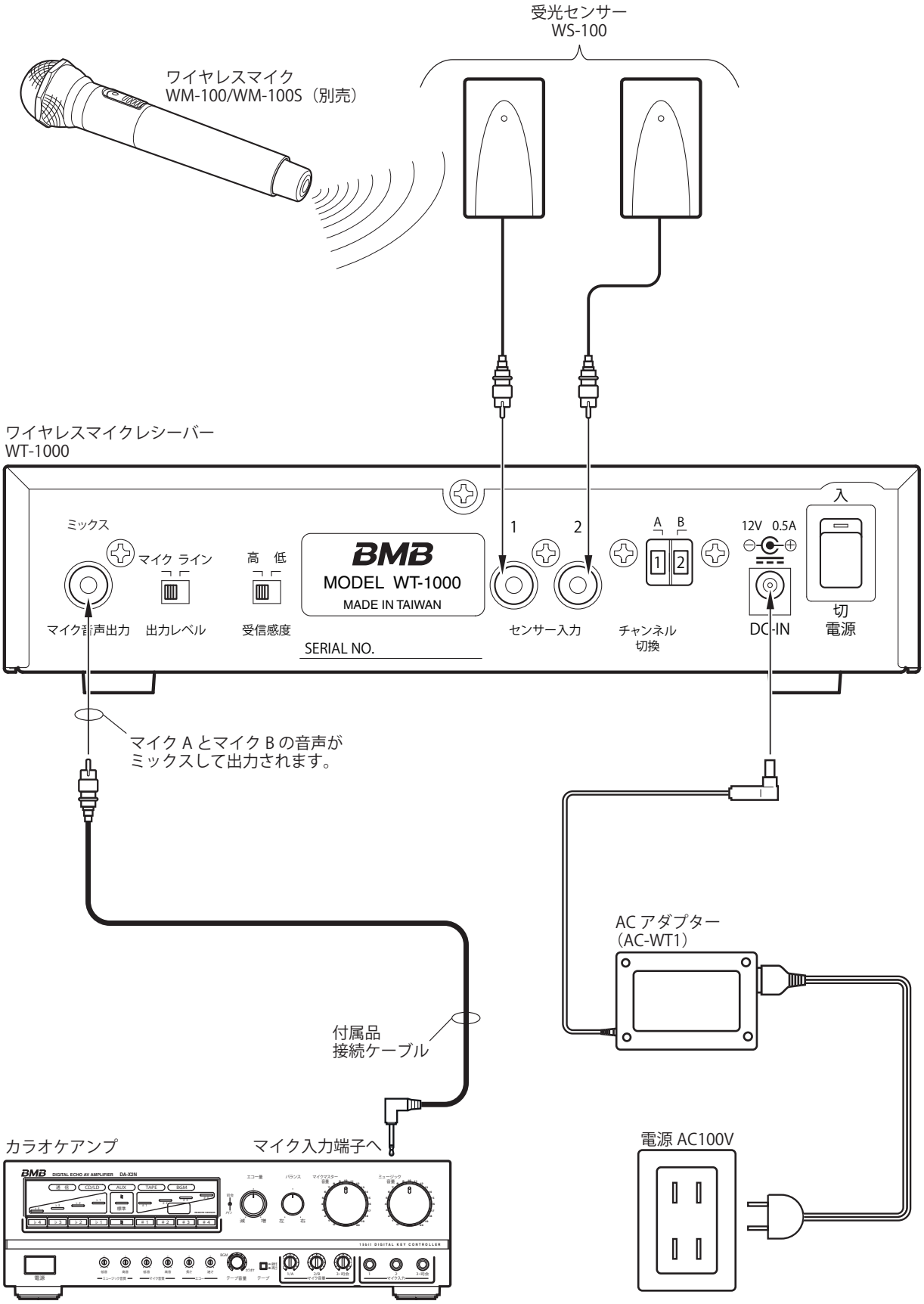
⑦ 電源スイッチ（入／切）

上を押すと電源が入り、下を押すと電源が切れます。

⑧ クランパー

DC ケーブルを固定します。

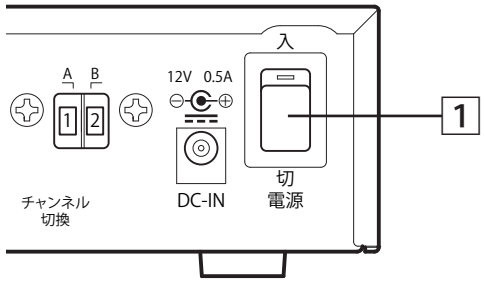
接続図


受光センサー
WS-100
ワイヤレスマイク
WM-100/WM-100S（別売）
ワイヤレスマイクレシーバー
WT-1000
ミックス
マイク ライン
高 低
BMB
MODEL WT-1000
MADE IN TAIWAN
1
2
A B
12V 0.5A
入
切
電源
マイク音声出力
出力レベル
受信感度
SERIAL NO.
センサー入力
チャンネル
切換
DC-IN
マイク A とマイク B の音声が
ミックスして出力されます。
AC アダプター
（AC-WT1）
付属品
接続ケーブル
カラオケアンプ
マイク入力端子へ
電源 AC100V

操作のしかた

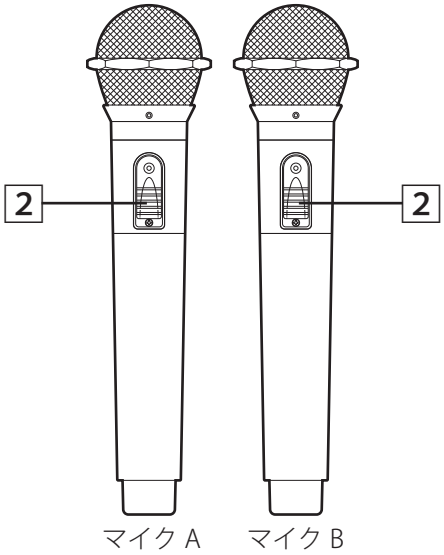
1 本機の電源を入れます。

後面パネル



2 マイク（WM-100/WM-100S）のスイッチを ON にします。
本機の受信インジケーターマイク A、B がそれぞれ緑色から赤色に点灯します。

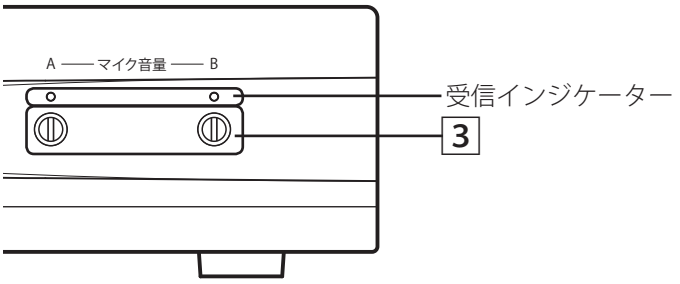
※ マイクが同じチャンネルの場合は、使用できません。
マイクのチャンネルを WM-100/WM-100S の取扱説明書をご覧になって変更してください。



3 マイクに音声を入れ、音量を調整します。

※ マイクを受光センサーのそばまで持って行き、受信することを確認してください。
その時、受信しなかったり、感度が悪くなった場合は、ケーブル接続および受信感度切り換えスイッチを確認してください。

前面パネル



チャンネルの切り換え

■ チャンネルの設定方法

1 WT-1000、WM-100 の組み合わせ

WT-1000（レシーバー）の工場出荷時は A が 1、B が 2 のチャンネルに設定されています。
また、WM-100（マイク）の出荷時は 1 に設定されていますので、レシーバーに合わせて 1 と 2 に設定してください。
1、2 以外のチャンネルを使用する場合は、22 ページの「チャンネル設定表」に従って設定してください。

2 従来機種との組み合わせ

レシーバーとのチャンネルの組み合わせは、22 ページの「従来機種との互換（チャンネル）設定表」に従って設定してください。

■ レシーバーのチャンネル切り換え方法

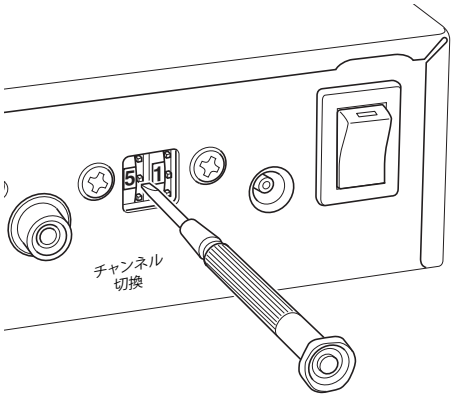
1 レシーバーの電源が入っている場合は OFF にします。

2 レシーバー後面にあるチャンネル切り換えスイッチを精密ドライバー等で変更します。

注意）チャンネル番号の 0 と 9 は本機では使用できません。
1 ～ 8 のチャンネルを使用してください。

3 レシーバーの電源を入れてください。

※ マイクを使用したままレシーバーのチャンネル設定を行わないでください。



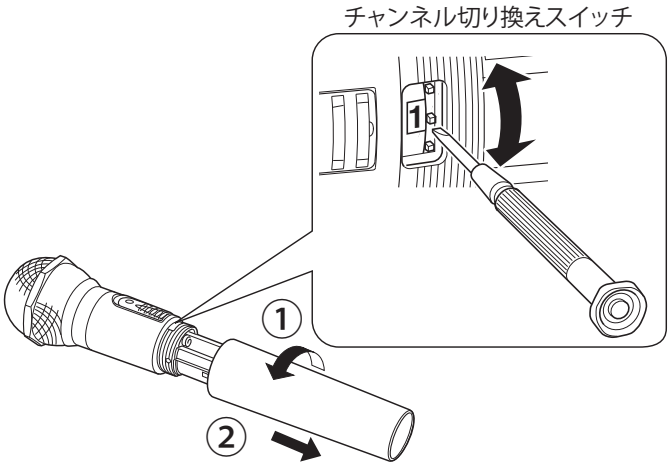
■ マイクのチャンネル切り換え方法

マイク A、マイク B のチャンネルは、レシーバーに合わせて設定を行ってください。

1 マイクの電源スイッチを OFF にしてケース下を外します。
電源スイッチの下側にチャンネル切り換えスイッチが見えます。

2 チャンネル切り換えスイッチを精密ドライバーなどでレシーバーのチャンネルに設定してください。

3 ケース下を取付けます。



■ プラズマディスプレイ使用時にマイクが使用できない場合

マイク A を 1、マイク B を 2 にチャンネル設定しプラズマディスプレイを使用することによりマイクが使用できない場合があります。
そのような場合はチャンネル設定表の『○』の組み合わせにチャンネルを変更し、マイクが使用できる組み合わせを設定してください。

チャンネル設定表

チャンネル		B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6
A (A 1 / B 2)	1	×	○	○	×	○	×
	2	○	×	○	×	○	○
	3	○	○	×	○	×	×
	4	×	×	○	×	○	○
	5	○	○	×	○	×	○
	6	×	○	×	○	○	×

○：組み合わせ可　×：組み合わせ不可

注意）
7 と 8 のチャンネルはプラズマディスプレイでは使用できません。

急速充電器　MC-100

充電器の使用上の注意

⚠ 警告

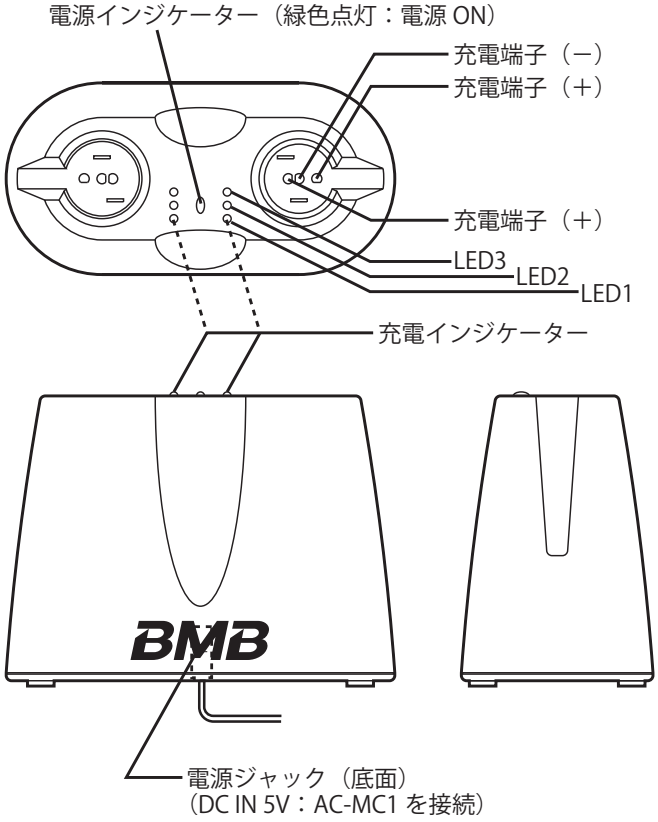
- この充電器に使用できるマイクは WM-100/WM-100S です。その他については販売店にご相談ください。指定（22 ページ参照）以外のマイクを使用すると、故障や事故の原因となりますので、絶対におやめください。
- 充電器の端子や内部に、金属片および異物などを入れないでください。故障や事故の原因となります。
- 充電器は振動のない場所で使用してください。

⚠ 注意

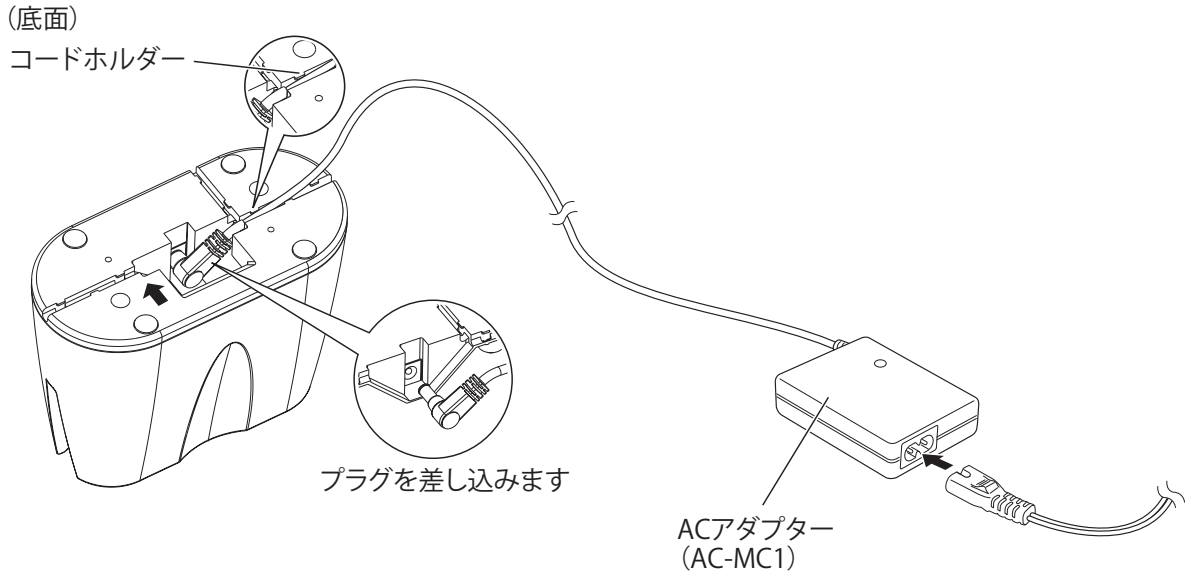
- 充電するときは、必ずマイクの電源を切ってから、充電器に入れてください。

- マイクを充電器に差し込むときは、垂直にゆっくり入れてください。マイクが充電器にしっかり入っていないと、充電インジケーターが点灯しない場合があります。この場合は、もう一度入れ直して、充電インジケーターが点灯することを確認してください。
- 充電できる電池は、マイク本体に付属している専用ニッケル水素電池パックのみです。市販のニッケル水素電池や乾電池などが入っている場合には、充電できません。
- マイクの電池の残りが少なくなると、音声の歪みや音の途切れ、雑音が入る場合があります。できるだけ早く充電してください。各マイクでの、充電が必要な場合の表示については、マイクの取扱説明書をご覧ください。
- 本機を落としたり、濡らしたりしないでください。

充電器の名称



充電器の取扱い方法



1 AC アダプターの DC 出力コードのプラグを充電器の電源ジャック（DC IN 5V）に差し込みます。
AC アダプターの DC コードは左、右、後面のいずれからも接続することができます。図のようにコードホルダーに固定してください。

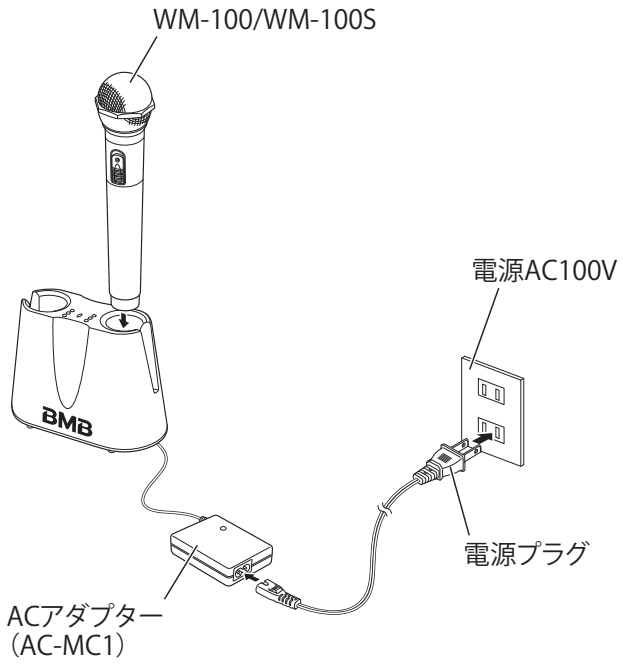
2 AC アダプターの電源プラグを、電源 AC100V に差し込みます。電源インジケーターが緑色に点灯します。

3 マイクの電源を切ります。

4 マイクに、専用ニッケル水素電池（マイク本体に付属）が入っていることを確認します。

5 充電器にマイクを静かに差し込みます。

6 充電インジケーターの LED 1 が赤く点滅し、充電が開始されたことを確認します。充電インジケーターが赤く点滅しないときは、もう一度入れ直します。



7 マイクを充電器に挿入してから、約 1 時間（WM-100/WM-100S の場合）で充電が完了します。充電が完了すると、充電インジケーターが 3 個とも赤色点灯に変わります。更に 1 時間後に全て消灯します。
※ 専用電池の充電中、電池は若干熱くなりますが故障ではありません。
※ BMB の従来機種赤外線マイクは、9 時間充電となります。
※ 次のようなニッケル水素電池パックを充電するときはご注意ください。
- 長期間ご使用にならなかったニッケル水素電池パック
- ご購入後、初めて充電を行うニッケル水素電池パック
  このようなニッケル水素電池パックは、充電されにくい状態になっていることがあります。これは、長期保存によるものです。
  このようなニッケル水素電池パックを充電すると、十分に充電される前に充電が完了することがあります。そのために、充電不足となることがあります。
  このようなニッケル水素電池パックは、「充電」と「放電（電池を使い切るまで使用する）」を 2 ～ 3 回繰り返してください。正常に充電できるようになります。

8 長期間ご使用にならないときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■充電インジケーター

	充電開始 →			充電完了
LED 3			☼	●
LED 2		☼	●	●
LED 1	☼	●	●	●

点灯：●　　点滅：☼

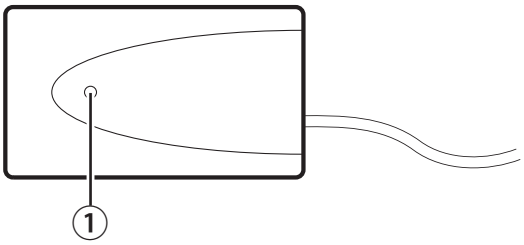
※充電完了から 1 時間後に全て消灯します。

充電端子のお手入れ方法

充電端子が汚れていると、充電時間が経過しても十分に充電できない場合があります。
定期的に、充電端子を清掃されることをお勧めいたします。
- 充電端子を清掃する場合は、乾いたきれいな布で汚れを拭き取ってください。
- 清掃する場合、充電端子に強い力を加えないでください。充電端子を破損して故障や感電の原因となる事があります。

受光センサー　WS-100

受光センサーの名称とはたらき



① 通電インジケーター

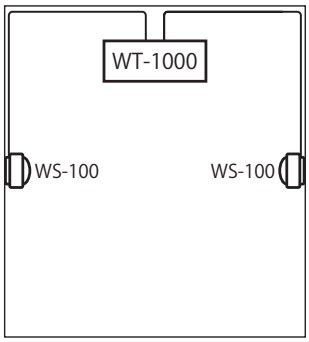
赤外線ワイヤレスマイクレシーバーの電源スイッチを入れると赤色に点灯します。
端子とコネクターの接続不良、ケーブルの断線やショートしているときは点灯しませんので、受光センサーの接続等を確認してください。

受光センサーの設置について

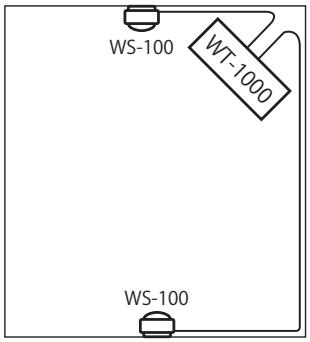
■ 設置について

部屋全体を 2 個の受光センサーで見通せるようになるべく高い所に設置してください。

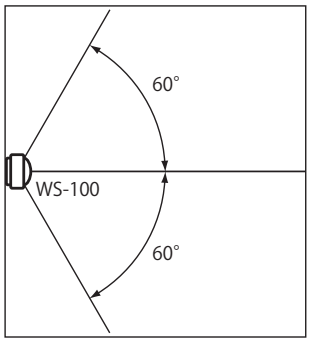
設置例 1



設置例 2



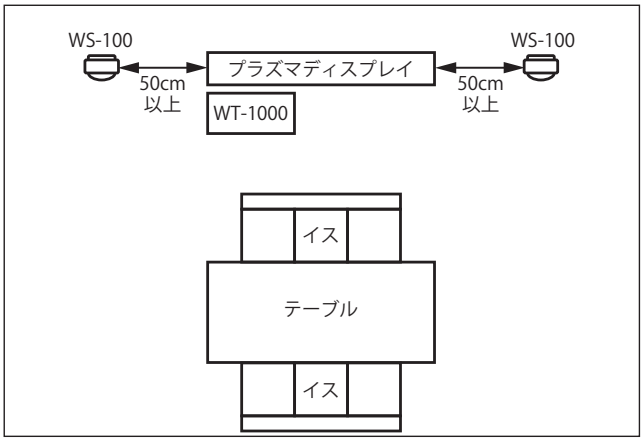
受光可能範囲



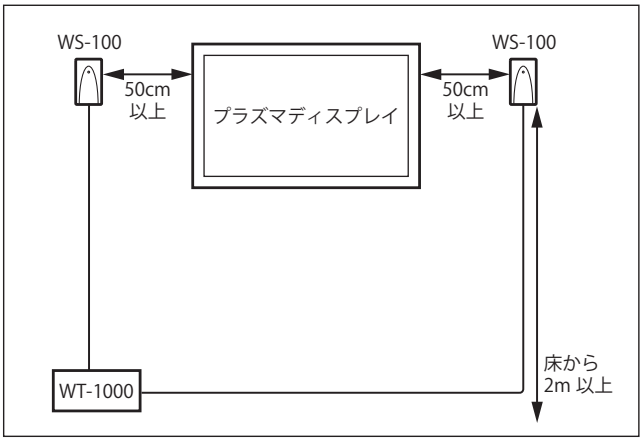
特にプラズマディスプレイをご使用の場合は、下図を参考にしてプラズマディスプレイから出る赤外線を受信しないように設置してください。

設置例 3

（上面図）



（前面図）



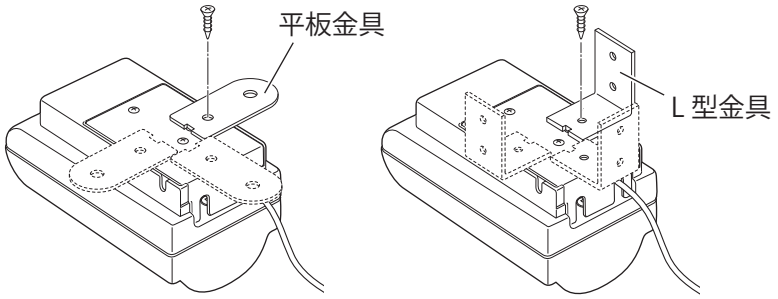
受光センサーはプラブマディスプレイと同一面もしくは後ろに設置してください。また、受光センサーおよびケーブルはプラズマディスプレイに対し 50cm 以上、床から約 2 m以上離して設置してください。

■ 取付方法

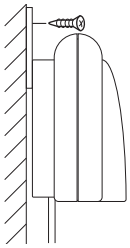
1 受光センサーに取付ける金具として、L 型金具・平板金具のどちらか 1 つを選んでください。

2 図のように受光センサー取付け金具を受光センサーに取付けてください（受光センサー取付け金具取付けネジを使用してください）。
受光センサーの取付け場所により、金具は 3 ヶ所の内、1 ヶ所を選んでください。

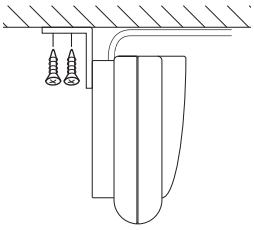
3 取付金具の付いた受光センサーを壁などに取付けてください（受光センサー取付け木ネジを使用してください）。
平板金具の場合は、木ネジ 1 本で取付けてください。
L 型金具の場合は、木ネジ 2 本で取付けてください。



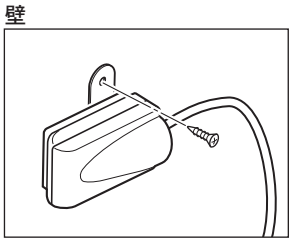
壁への設置例
（平板金具使用）

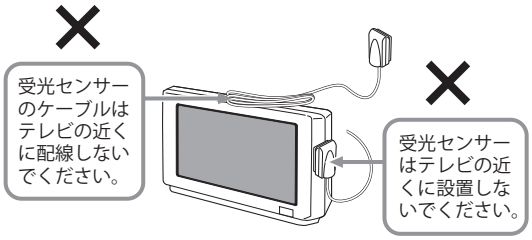


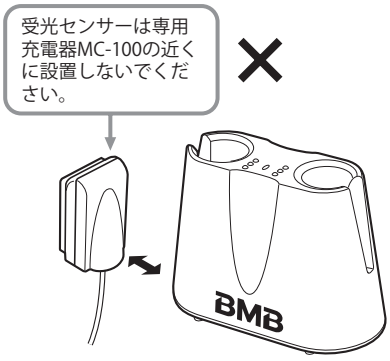
天井への設置例
（L 型金具使用）



注意）受光センサーは落下などの衝撃により、破損する場合があります。
取付け時の落下には十分ご注意ください。







⚠ 注意
落下する恐れのある場所には設置しないでください。
もろい材質の壁面や天井などに設置すると、落下してけがの原因となります。

⚠ 注意
受光センサーおよび受光センサーのケーブルはテレビ、プラズマディスプレイ、蛍光灯、スポットライト、ネオン管等には近づけないでください。
近づけると雑音が発生し、スピーカーが破損したり聴力障害を起こす可能性があります。

⚠ 注意
受光センサーを専用急速充電器 MC-100 に近づけないでください。
近づけると雑音が発生し、スピーカーが破損したり、聴力障害を起こす可能性があります。

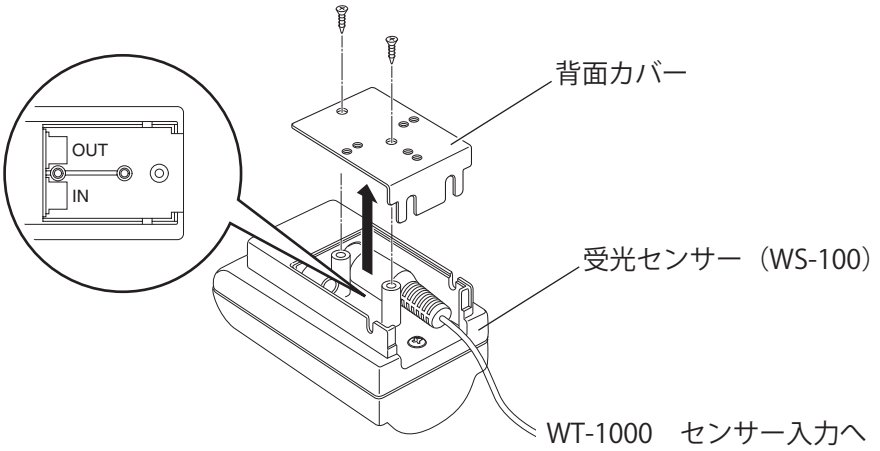
ご注意

- 受光センサーを設置する場合は、物かげにならないように設置してください。
- マイクと受光センサーの間に障害物があると、雑音が発生する事があります。また、雑音が発生している時に大きな声を出すと、音が途切れる事があります。
- 受光センサーに太陽光、スポットライト、ネオン等の強い光が当たると雑音が発生する場合があります。強い光が当たらない場所に取付けてください。
- 赤外線はガラスを透過しますので、隣接した部屋がガラスで仕切られている場合、受光センサーの取付け場所にはご注意ください。
- 取付ける前に取付け場所の強度を十分に確認してください。取付け強度の不足や、取付け不備による、受光センサーの落下等の事故に対しては、一切責任を負いません。
- 赤外線リモコン、赤外線ヘッドホンのトランスミッター、プラズマディスプレイや専用急速充電器 MC-100 を受光センサー近辺で使用すると、雑音が発生することがあります。

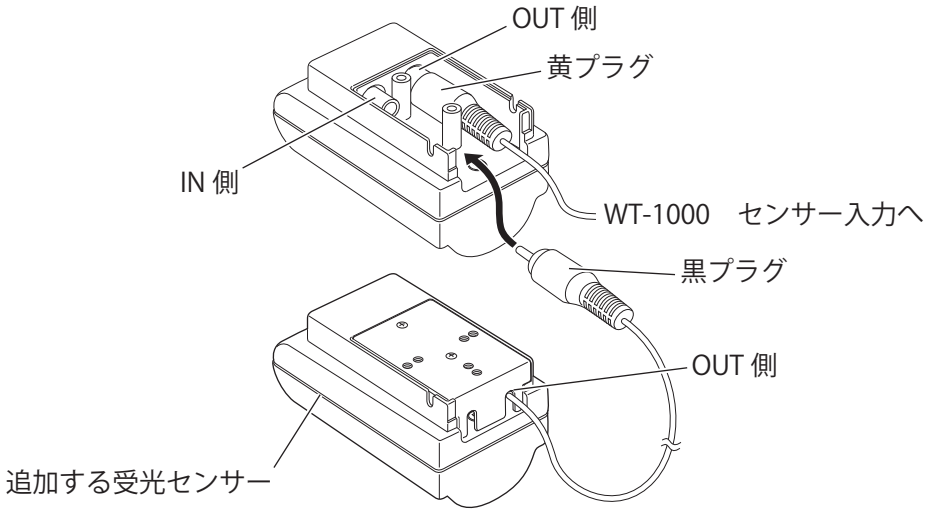
受光センサーを追加接続する場合

赤外線ワイヤレスマイクを使用する部屋により、受信エリアをさらに広めたい場合に、受光センサー（別売）を追加で接続することができます。
注意）1 個の受光センサーで追加の接続は 1 個までです。

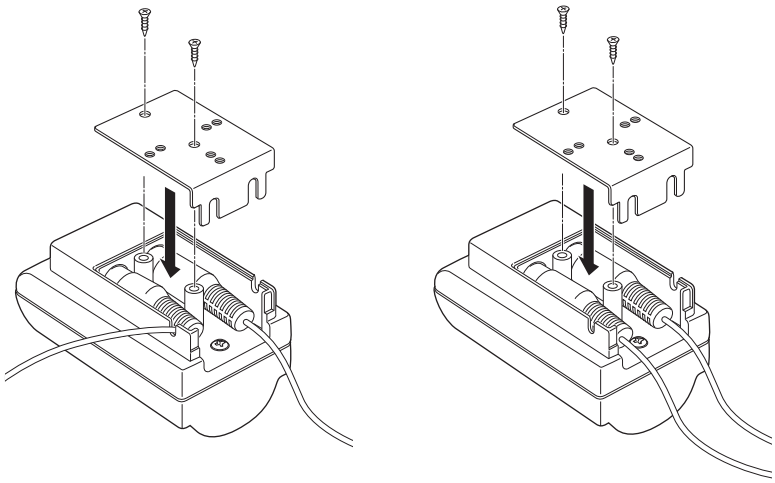
1 受光センサー背面のビス 2 本を外して、背面カバーを取外します。



2 追加する受光センサーの OUT 側から出ているケーブルを受光センサーの IN 側に接続します。
注意）IN 側と OUT 側を間違って接続すると、受信できなくなります。



3 取外したカバーをビス 2 本で取付けます。



ケーブルを左から出す場合　　ケーブルを下から出す場合

アフターサービスについて

1．この製品には保証書を別途添付しています。保証書は「販売店、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ大切に保管してください。

2．保証期間はお買い上げ日より、6ヶ月です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が発生した節は、お買い上げ販売店または取扱店で保証書記載事項に基づき「無償修理」いたします。

3．保証期間経過後の修理

修理によって機能が回復できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

4．修理料金の仕組み

●技術料

故障した商品を正常に修復するための料金です。

●部品代

修理に使用した部品代金です。

5．修理をご依頼になる際は、お手数ですが「故障かな？と思ったら」をご参照になり、よくお調べくださいますよう、お願いいたします。

それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源コードを抜き、お買い上げ販売店または取扱店へご連絡ください。

機器のトラブルの時には

お客さまよりアフターサービスのご依頼があったときには、必ず下記の処置を行ってください。

●処置の内容

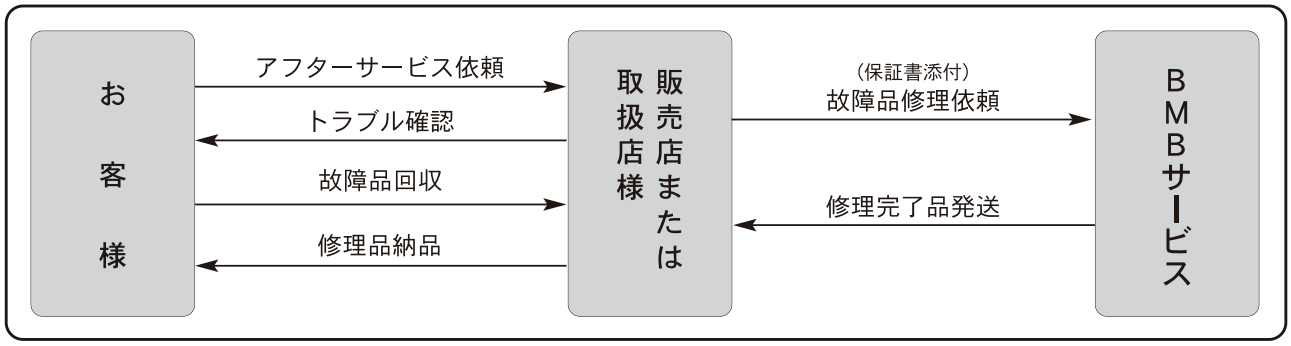
・トラブルの内容確認

・接続（ケーブルの取扱い）関係のチェック

・取扱いの注意、使用方法の指導

故障と判明したときには

販売店または取扱店へご連絡ください。



愛情点検　長年ご使用の本機の点検を！

このような症状はありませんか？

電源コード、プラグが異常に熱くなる。
電源コードに深いキズや変形がある。
使用中に異常な音が出る。
電源を入れても正常に動作しない。
異常な臭いがしたり、意図しない煙がでる。
製品にさわると、ピリピリ電気を感じることがある。
その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず、お買い上げの販売店または取扱店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外なミスが故障と思われることがあります。
下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ワイヤレスマイクレシーバーについて

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
音が出ない	ワイヤレスマイクの電池残量は十分でしょうか？	マイクの電池を充電してください。
	レシーバーは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
音が小さい	レシーバーの音量調整は、小さすぎませんか？	レシーバーの音量調整つまみで適正音量にします。
	アンプの音量調整は､小さすぎませんか？	アンプの音量調整つまみで適正音量にします。
受信感度が悪い	受光センサーのケーブルは正しく接続されていますか？	受光センサーのケーブルを正しく接続してください。
	受光センサーが隠れていませんか？	受光センサーを見通せる位置に取付けてください。
	マイクの赤外線発光部を握っていませんか？	マイクの赤外線発光部を握らないでください。
	受信感度切り換えスイッチが〝低〟になっていませんか？	受信感度切り換えスイッチを〝高〟にしてください。

注意）

- 太陽光や強い光があたったり、物かげになったりすると雑音が発生することがあります。これは故障ではなく赤外線特有の現象です。
- 受信状態で受光センサーのコネクタを抜き差しすると、雑音が発生することがあります。
- 受信状態で電源スイッチを ON/OFF すると、雑音が発生することがあります。

■充電器について

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
電源インジケーターが、緑色に点灯しない	AC アダプターの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	AC アダプターの DC 出力プラグが電源ジャックに差し込まれていますか？	AC アダプターの DC 出力プラグを電源ジャックに差し込んでください。
マイク挿入時、充電インジケーターが、赤色に点灯しない	マイクに専用ニッケル水素電池が入っていますか？	マイクにマンガン乾電池またはアルカリ乾電池が入っている場合は、専用ニッケル水素電池パックに入れ換えてください。
	マイクが充電器に確実に差し込まれていますか？	マイクを充電器にゆっくり差し込んでください。
	充電端子が汚れていませんか？	充電端子を乾いたきれいな布で清掃してください。

参考

■チャンネル設定表

チャンネル		B 1	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7	B 8
A 1	1	×	○	○	×	○	×	○	○
A 2	2	○	×	○	×	○	○	○	×
A 3	3	○	○	×	○	×	×	×	○
A 4	4	×	×	○	×	○	○	○	○
A 5	5	○	○	×	○	×	○	×	○
A 6	6	×	○	×	○	○	×	×	○
A 7	7	○	○	×	○	×	×	×	○
A 8	8	○	×	○	○	○	○	○	×

○：組み合わせ可　×：組み合わせ不可

※組み合わせの推奨チャンネルはチャンネル 1・2、チャンネル 3・4、チャンネル 7・8 です。

チャンネル使用周波数表

チャンネル	周波数
1	4.55MHz
2	4.95MHz
3	4.25MHz
4	4.75MHz
5	4.10MHz
6	4.40MHz
7	2.06MHz
8	2.56MHz

■従来機種との互換（チャンネル）設定表

レシーバー	チャンネル	周波数
WT-3300	7	2.06MHz
	8	2.56MHz
WT-4000	7	2.06MHz
	8	2.56MHz
WT-5000 / MKII	7	2.06MHz
	8	2.56MHz
WT-9500	1	4.55MHz
	2	4.95MHz
WT-9600	1	4.55MHz
	2	4.95MHz

マイク	チャンネル	周波数
WM-330A	7	2.06MHz
WM-330B	8	2.56MHz
WM-400A	7	2.06MHz
WM-400B	8	2.56MHz
WM-500 / MKII A	7	2.06MHz
WM-500 / MKII B	8	2.56MHz
WM-600（チャンネル A）	7	2.06MHz
WM-600（チャンネル B）	8	2.56MHz
WM-950（チャンネル A）	1	4.55MHz
WM-950（チャンネル B）	2	4.95MHz

一般仕様

■ワイヤレスマイクレシーバー（WT-1000）

受信方式…… スーパーヘテロダイン方式
受信周波数
…… 2.06, 2.56, 4.10, 4.25, 4.40, 4.55, 4.75, 4.95MHz
変調方式…… 周波数変調
受信チャンネル…… 2 チャンネル
トーン信号…… 35.7KHz
出力電圧
…… マイク 300mV
［変調度 60KHz dev. VOLUME：MAX.］
…… ライン 1V
［変調度 60KHz dev. VOLUME：MAX.］
周波数特性…… 50Hz ～ 12KHz ± 3dB
（De-Emphasis：50 μ sec）
S/N …… 55dB 以上
［60dB μ V 入力、JIS-A 聴感補正、
変調周波数 1KHz、周波数変移± 9KHz］
歪率…… 1%以下
［60dB μ V 入力、変調周波数 1KHz、
周波数変移± 28KHz］
電源電圧…… DC 12V、0.5A
消費電力…… 6W
質量……790g
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
……200mm × 49.5mm × 156.7mm

AC アダプター仕様（AC-WT1）

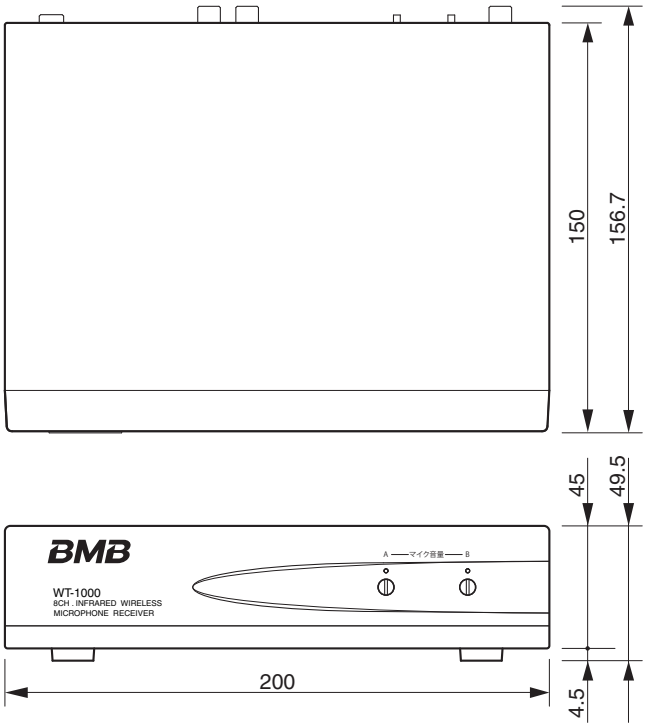
電源電圧…… AC 100V
出力電圧……DC 12V
最大出力電流…… 0.5A
寸法（幅×高さ×奥行き） …… 93 × 26 × 62mm
（電源コード等の突起物は含んでいませんのでご注意ください。）
質　量…… 約 266 g（コード含む）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）
受光センサー…… 77 × 44 × 43mm
AC アダプター …… 94 × 26 × 62mm

付属品

- 受光センサー（WS-100） …… 2
  ケーブル長さ 10m 1 本
  ケーブル長さ 5m 1 本
- 受光センサー取付け金具取付けネジ…… 2
- 受光センサー取付け木ネジ（3 × 13）…… 4
- 受光センサー取付け金具
  平形金具…… 2
  L 型金具 …… 2
- アンプ用接続ケーブル（RCA ピン一 6.5 φ プラグ）… 1
- レシーバー専用 AC アダプター（AC-WT1） …… 1
- 充電器 MC-100 …… 1
- 充電器専用 AC アダプター（AC-MC1） …… 1
- 取扱説明書…… 1
- 保証書…… 1

※ 本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



■充電器（MC-100）

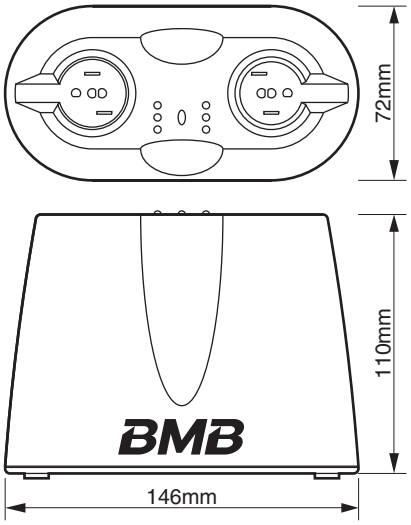
入力電圧…… DC 5 V
使用温度範囲…… ＋10℃ ～＋35℃
消費電力……22 W（最大）
充電電流……約 1650 mA × 2
充電時間…… 約 1 時間（WM-100）
質　量…… 約 370 g
外形寸法（幅×高さ×奥行き）…… 146 × 110 × 72mm

AC アダプター仕様（AC-MC1）

電源電圧…… AC 100 V
出力電圧…… DC 5 V
最大出力電流…… 3.5 A
寸法（幅×高さ×奥行き） …… 94 × 26 × 62mm
（電源コード等の突起物は含んでいませんのでご注意ください。）
質　量…… 約 270 g（コード含む）

※ 本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



株式会社 BMB

ご購入（据付）年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

07/09　00M02BZ851110